



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）9月15日号 No. 1539

目次

■ 2011年1～6月のロシアの貿易と外国投資受入	1
■ キーパーソン	7
ロシアの3つの連邦管区で全権代表の交代／7	
ウクライナに新大使／7	
■ トピックス	7
横河がタタルスタンにテクニカルセンター開設／7	
横浜ゴム、ロシアに追加投資へ／8	
オブテックスがモスクワに防犯関連販社設立／8	
楽天、ロシア電子商取引最大手に出資／8	
JTBがモスクワで展示会開催／8	
■ エトセラ	9
東京・富山におけるロシア極東関連セミナー開催のご案内／9	

2011年1～6月のロシアの貿易と外国投資受入

はじめに

2011年1～6月のロシアの貿易と外国投資受入の統計データがほぼ出揃ったので、今回の速報では恒例によりこれらのデータを図表にまとめてお届けすることにする。

ロシア中央銀行の国際収支統計によると、2011年1～6月のロシアの商品輸出総額は2,498億ドル（前年同期比31.5%増）、輸入総額は1,473億ドル（41.8%増）で、収支は1,025億ドルの黒字であった。国際収支ベースの過去数年の輸出入額を、月別に跡付けたのが図1である。これを見ると、ロシアの貿易はリーマン・ショック後の落ち込みを脱し、最盛期の2008年前半の水準にまで回復してきていることが分かる。

一方、ロシア連邦関税局の通関統計によれば、2011年1～6月のロシアの商品輸出総額は2,469億ドル（前年同期比30.4%増）、輸入総額は1,400億ドル（47.4%増）で、収支は1,070億ドルの黒字であった。貿易の商品別や相手国別の内訳を知ることができるのは通関統計なので、以下では通関統計を利用しながら上半期の貿易動向につき吟味する。その際に、関税同盟に起因する通関統計のデータ欠落の問題がある。ロシアの通関統計には以前から